

1. 開催日 2021年11月15日(月)
2. 開催場所 株式会社ニューメディア 大会議室
3. 委員出席
 - 委員総数 6名
 - 出席委員 7名
 - 出席委員 武田正隆、金子聡子、齊藤哲裕、
須貝広大、高谷里美、吉田智之
 - 放送事業者側出席者 伊藤優子(取締役米沢センター長)
佐藤大輔(米沢センター業務部長)
松田典子(米沢センター
コンテンツ制作課ディレクター)
須貝 崇(米沢センターコンテンツ制作課係長)
渡部剛士(CCSスタジオ 専務取締役)
金 順治(CCSスタジオ 制作課長)
鈴木朗子(CCSスタジオ 制作係長)
4. 議 題
 1. 会社代表挨拶
 2. 御審議
 3. 報告
 4. その他
5. 議事の概要
 1. 開会
 2. 御審議
 - ①「防災の心得～By My Self～」
毎週(月)～(金)7:55(3分コーナー)他
※防災意識を促す啓発の一環として、地元有識者による防災インフォメーションコーナー。
 - ②「暮らしのインフォメーション」
コマーシャル枠に随時
※季節の変化と暮らしに寄り添った防災情報を手短かに発信する手段としてコメントを20秒にまとめた呼びかけ。
 3. 報告
 4. その他

6. 審議内容

A委員

- ・東日本大震災から10年が経過し、世代によっては覚えていない若者も多い。放送を通じた啓発は今後も必要。
- ・天災のみならず、火災や交通事故など人災の怖さも伝えるべき。
- ・頼れるメディアであることをPRする必要があるのでは。

B委員

- ・万一の際に役に立つ、意義のある番組だ。
- ・より多くの方に聞いていただける時間帯に放送時間を配置してもいいのでは。

C委員

- ・要点がまとめられ、それをゆっくりと伝えていることで聞きやすさを感じた。
- ・シンプルに防災意識が高まった。
- ・習慣化してこそ生かされる内容なので、周知活動があったらよい。

D委員

- ・停電やネット回線も遮断されたら電波が有効的であることから「災害時にはラジオ」ということをもっと周知すべき。

E委員

- ・普段から耳にすることで意識の中に残り、それが行動につながる。
- ・1回の放送ではなく、くり返し放送されるのがいい。
- ・コマーシャル枠に入れる20秒のコメントも有効的。
- ・災害は警察や消防との連携も大切。そういった連携ができないものか。

F委員

- ・各自治体の自主防災組織の活動にもスポットを当ててはどうか。
- ・3.11から時間が経ち、更なる個々の意識付けにはラジオからの情報発信は有効的だ。

7. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容

- ・防災コーナーはもとより、災害時のラジオの活用を周知することに努める

8. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

2021年 11月25日（木） FM生放送で公表

2021年 11月25日（木） 自社ホームページに掲載

9. 次回の番組審議会開催予定

次回は2022年 2月 17日（木）に開催予定